

資料 3

さかたアートマルシェ2020

主催：酒田市文化芸術推進プロジェクト会議

1. 目的

平成30年3月に、酒田市文化芸術基本条例を制定、同年、酒田市文化芸術推進計画を策定し、**「社会包摂と育成」**という方針のもと、多様な事業を実施してきました。

文化芸術は、習い事や趣味のレベルで捉えられることが多く、好き嫌いで語られることが多かった分野です。

しかし、平成13年に制定された文化芸術振興基本法（現：文化芸術基本法（平成29年6月改正））において、文化を享受することは、国民の権利だと明記しています。このことを受け、本市の条例及び計画においても文化を権利として考え、「社会包摂」という視点を入れ、事業を展開しています。

アートマルシェは、経済的、身体的、社会的等の事情の有無に関係なく、あらゆる市民に、文化芸術に触れる機会を提供するために、プロ・アマチュア問わず、コンサート・ワークショップ・食の提供など、多様な事業を実施し、様々なアート体験をしていただく場を提供することを目的に実施しているものです。

2. 今年度の方向性

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小し、3密にならないように、展示を中心とした事業内容に変更し、実施します。

コロナ禍であるという事情を勘案し、「祈りと希望」をコンセプトに、命を考える機会になればとの願いをこめ、事業を実施することにいたしました。

このコンセプトに基づき、酒田市出身の画家 佐藤真生氏の絵画等の作品と障がいのある方の作品、公募によるアマビエ様作品を、「企画展」としてキュレーションし、初めて酒田市美術館の市民ギャラリーを使って展示を行います。これまで付けてきた事業名「障がい者アート展」を外し、作家1人1人、作品1点1点に焦点を当て、ポスターレスな展示を行う予定で準備を進めています。

芸術における表現は、生きていることの証です。作品の完成に至るプロセスにも「存在の証」としての意味があります。多様な表現の面白さを、文化芸術の事業を通し発信していきます。

事業の実施に当たっては、文化活動をしている市民、まちづくりに携わる市民、学生、障がい者施設の職員の皆様等と共に考え、協働しながら、共生社会を目指す一助になる取り組みを目指します。

3. 日時及び会場

酒田市美術館 (酒田市飯森山)

令和2年9月15日～27日(日)

入場料：無料

*展示 (佐藤真生作品・見て!カラフルなわたしの世界2、
アマビエ公募作品) 市民ギャラリー

*ワークショップ 中庭

*コンサート 中庭

4. 事業内容

コンセプト：「祈りと希望」「命」を考える事業になることを目指していきます。

<p>展示①</p> <p>見て！ カラフルな わたしの世界2 (障がいのある方の作品)</p> <p>今年度で3回目を迎える障がい者アート展を今年はマルシェの一環として開催します。</p>	<p>展示②</p> <p>【アマビエ様作品】 公募</p> <p>アマビエ様の作品を公募し、展示します。</p> <p>7月16日号酒田市広報 掲載予定</p>	<p>展示③</p> <p>【佐藤真生氏作品】</p> <p>◆展示予定作品 ①アマビエ様 (掛軸) ②黄昏漁之譚 (油彩) ③夢見る金魚 ④夕映工の空 ⑤金魚鱗 ⑥金魚 (バルーン/中庭想定)</p> <p>障がいのある方の作品と一緒に展示します。</p>	<p>体験</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>2人の講師による ワークショップ</p> <p>①講師：佐藤真生氏 画家/酒田市出身 1種類 (中庭)</p> <p>②講師：松村泰三氏 東北芸術工科大学准教授 3種類程度予定 (中庭)</p> <p>その他、「よねさんの紙芝居」も予定しています。</p>	<p>鑑賞</p> <p>【光と風のコンサート】 9月21日(月・祝)</p> <p>山形交響楽団 金管八重奏</p> <p>会場：美術館 中庭</p> <p>①11:00~11:30 ②14:30~15:00</p>
--	--	--	---	--

1つの企画展として展示します。

(1) 展示



画家 佐藤真生氏アマビエ様
雑誌『Discover Japan』の表紙となりました。



みて！カラフルなわたしの世界 (令和元年度作品)



①見て！カラフルなわたしの世界2

(障がいのある方の作品です)

- ✧参加者 現在調査中 ※市内障がい者等の事業所対象
- ✧展示数 約30点 ※1事業所あたり2～3作品程度
- ✧協力者 ギャラリーららら 武田和恵氏
酒田市美術館 学芸員 武内治子氏
地域おこし協力隊 中島友彦氏
- ✧その他 ●障がいのある方の作品と佐藤真生氏の作品をプリントしてトートバッグ
やクリアファイルなど、商品化についても検討していきます。
●作家紹介用の映像や図録的なものについても検討していきます。

②【作品公募】アマビエ様を描こう！

- ✧募集内容 アマビエ様が描かれた作品を募集します。
- ✧募集期間 令和2年7月16日(木)～7月31日(金)
- ✧対象 どなたでも
- ✧作品条件
 - *A4サイズ以下であること
 - *立体的なものは不可。ピースやモール等の使用や切り絵・ちぎり絵当は可。
- ✧申込方法 募集要項のり面にある申込書を記入し、作品と一緒に持参してください。
 - *酒田市民会館「希望ホール」
 - *酒田市ボランティア・公益活動センター
 - *酒田市総合文化センター
 - *酒田市教育委員会社会教育文化課
- ✧展示方法 画家 佐藤真生氏の作品、障害のある方の作品と一緒に展示します。

③佐藤真生氏作品 (画家/酒田市出身)

- ✿テーマ 候補1「いろいろいろいろ展」 候補2「いろいろは展」
候補3「いろいろといる展」 ※展覧会全体のタイトルとして検討する。
 - ✿展示作品 ①アマビエ様(掛軸) 疫病退散を祈念した作品 ②黄昏漁之譚(油彩)
③夢見る金魚 ④夕映エの空 ⑤金魚糞
- ※重陽の節句(9月9日)は、菊で不老長寿を願う年中行事。重陽の節句は、最も大事な命にスポットを当てています。
このことから、重陽の節句にちなみ「後の縁(のちのひな)」といわれ、江戸時代に親しまれた風習を復活させ、金魚糞を展示し
コロナ禍での祭りとしていきます。
- ✿その他 ワークショップの開催及び金色バルーンの設定についても検討(中庭)。
 - ✿今後の方向性
次年度、障がいのある方と合同作品を創るため、下半期は、故事業所を訪問するなど、ご指導をいただく予定。

(2) ワークショップ

✿テーマ まつむら先生とあそぼう！おそとでアート(仮)

美術館の庭で、思いっきりアートで遊んでみませんか？

- ✿講師 東北芸術工科大学准教授 松村泰三先生
 - ✿内容 工作いろいろ(3種類程度、現在検討中)
例)ぱらぱらアート、アートなマスクを作ってみよう、光の箱など
- ※アートマルシェ実施中は、特別展「東海道五十三次 歌川広重展」が主会場となるため、本館で開催されている。
- ✿その他 ●障がい者アート展を開催中のため、障がいのある方も参加して
いただけるような内容も検討していただいています。
●ワークショップの会場は、庭を想定しており、テントを設置する予定。

(3) 光と風のコンサート (仮)

✿内容 美術館の中庭にて、コンサートを開催する。
 ※安田侃氏「翔生」をステージに演奏するなど、光と風を感じながら、
 酒田市美術館の庭の美しさを感じてもらえるような実施方法を
 検討していきます。

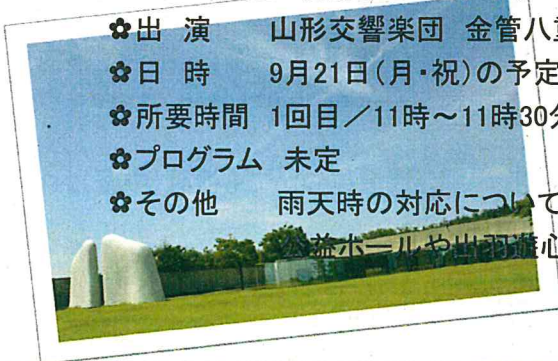
✿出演 山形交響楽団 金管八重奏の予定

✿日時 9月21日(月・祝)の予定

✿所要時間 1回目/11時~11時30分、2回目/14時30分~15時

✿プログラム 未定

✿その他 雨天時の対応については、3密対策を取った上で、代替案として、
 公益ホールや出羽遊心館等を候補地として考えていきます。



(4) その他事業

✿よねさんの紙芝居

会場:美術館中庭

日時:9月21日(月・祝) 13:00~14:00

✿物販 障がい者施設等の事業所の物販、オリジナルグッズの販売(検討中)
 エントランスロビー付近を想定。

✿土門拳記念館の事業との連携

けんちゃんこどもまつりの実施を検討中(土門拳記念館主催)

参考：社会包摂と育成に基づく主な事業

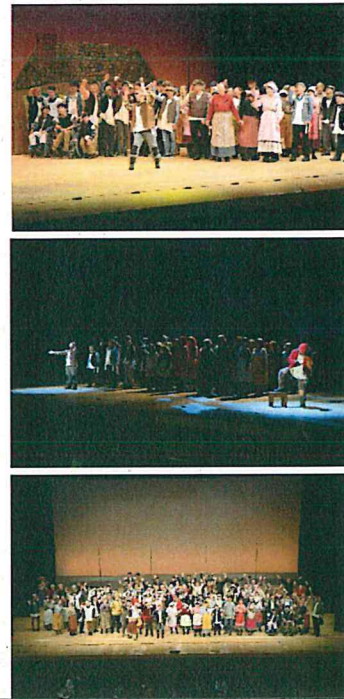
【令和元年度】

🌸若竹ミュージカル

「屋根の上のヴァイオリン弾き」

日 時：2019年12月1日（日）13:30開演
 会 場：酒田市民会館「希望ホール」
 出 演：若竹ミュージカル 代表 工藤保史氏（酒田市出身）
 （東京学芸大学特別支援学校卒業生及び保護者の皆様）
 若竹オーケストラ
 酒田特別支援学校高等部の皆さん
 出演者数（A）：170名
 （若竹ミュージカル・オーケストラ120名、酒田特別支援学校 50名）
 入場者数（B）：1,037名（内障がい者招待172名・有効席数1080席）
 スタッフ数（C）：80名
 総計：1,287名（A+B+C）

※イベントとして、若竹ミュージカルの皆さんのミュージカルの練習に
 臨む様子をドキュメンタリー映画にした作品の上映会を行いました。
 参加者40名 ※若竹ミュージカルより12名の方が酒田にお越しくださいました。



参考：文化芸術推進計画体系図

●計画の方向性

